

2018年3月期 第2四半期 決算説明会

2017年11月21日



高千穂交易株式会社
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

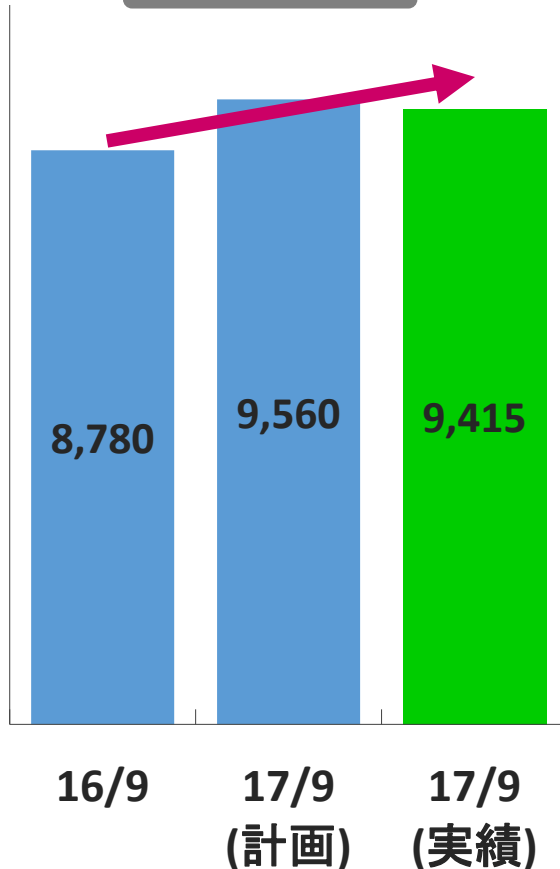
第2四半期の決算概要

※当資料の金額の記載は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

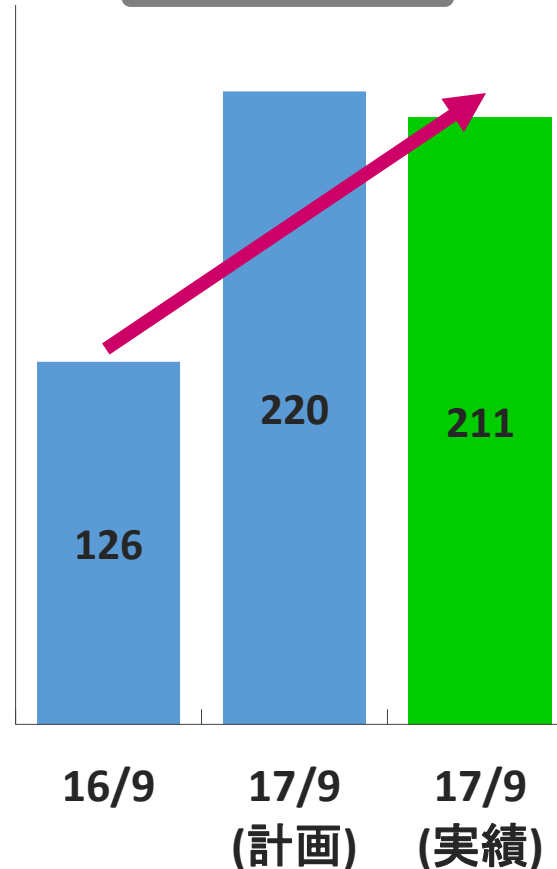
連結業績ハイライト

増収増益、経常利益は計画達成

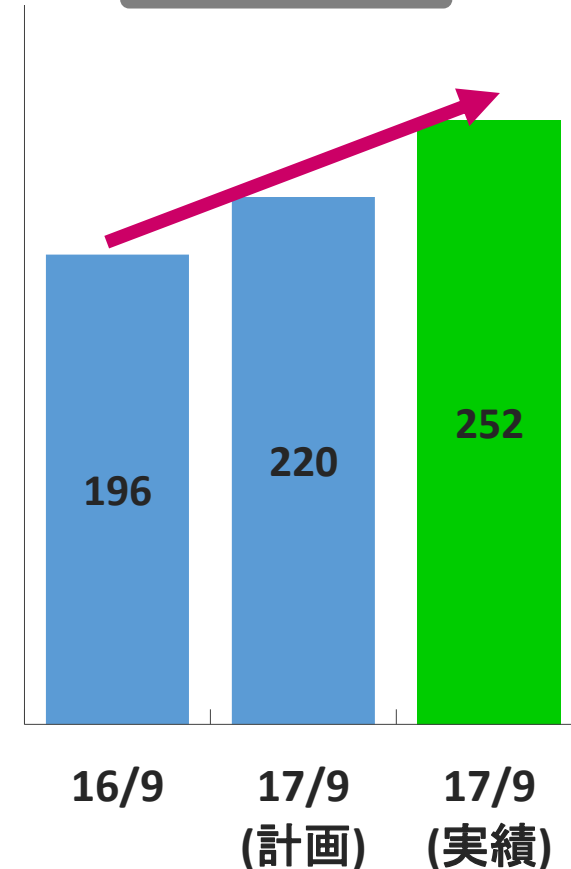
売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



連結業績の詳細

粗利率が低下し粗利益が減少するも、
販管費の削減により営業利益以下は増益

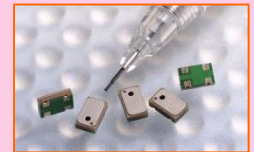
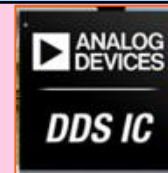
(百万円)

	16/9	17/9		計画差	前期差	前期比 (%)
	実績	計画	実績			
売上高	8,780	9,560	9,415	△144	635	7.2
粗利益	2,305	2,520	2,297	△222	△8	△0.4
粗利益率(%)	26.3	26.4	24.4	△2.0	△1.9	—
販売費及び一般管理費	2,178	2,300	(※) 2,085	△214	△92	△4.3
販管费率(%)	24.8	24.1	22.1	△1.9	△2.7	—
営業利益	126	220	211	△8	84	66.7
営業利益率(%)	1.4	2.3	2.2	△0.1	0.8	—
経常利益	196	220	252	32	56	29.0
経常利益率(%)	2.2	2.3	2.7	0.4	0.5	—
親会社株主に帰属する当期純利益	77	110	123	13	46	60.2
親会社株主に帰属する当期純利益(%)	0.9	1.2	1.3	0.2	0.4	—
人員	495	—	500	—	5	—

※：のれん償却 95百万円計上(16/9は193百万円)

資料：セグメント・プロダクト

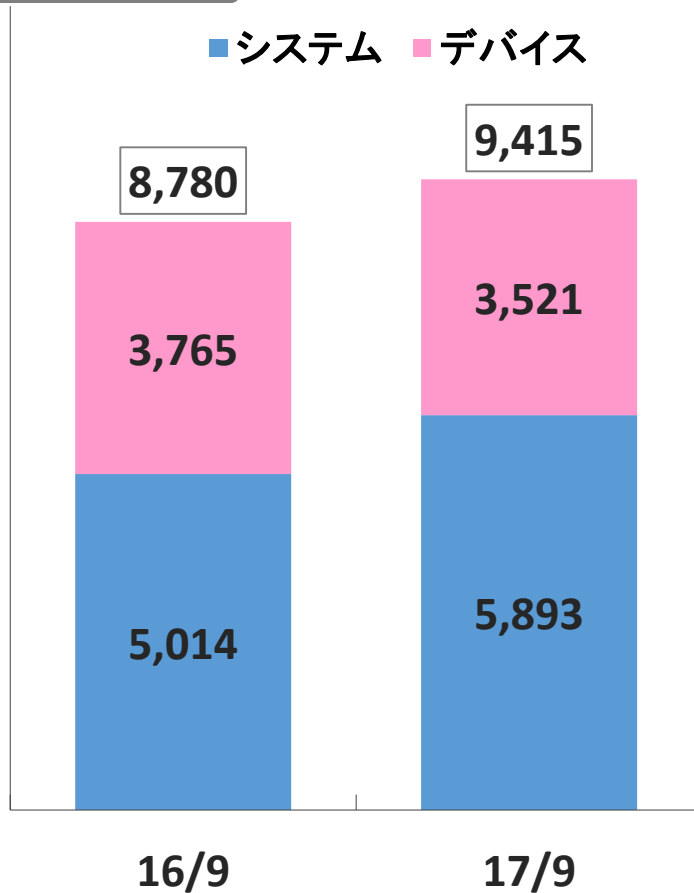
セグメント	プロダクト (商品類)	商品例
システム	セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・EAS(商品監視システム) ・映像監視システム ・ストアマネジメントシステム ・ディスプレイセキュリティシステム ・オフィス入退室管理システム ・防火システム
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・メーリングシステム ・RFIDシステム ・ネットワークシステム
	カスタマ・サービス	システムセグメント内の商品の構築・保守・運用管理
デバイス	電子	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログ半導体 ・通信用電子部品 ・各種センサー
	産機	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドレール ・ガススプリング ・ソフトクローズユニット ・電子錠



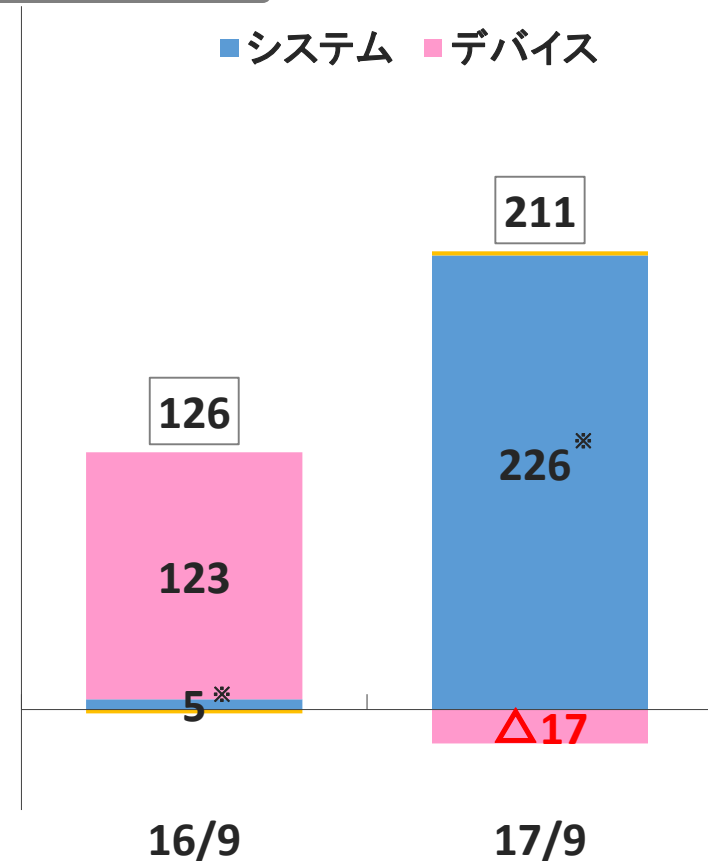
セグメント別業績

システムは増収増益、デバイスは減収減益

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



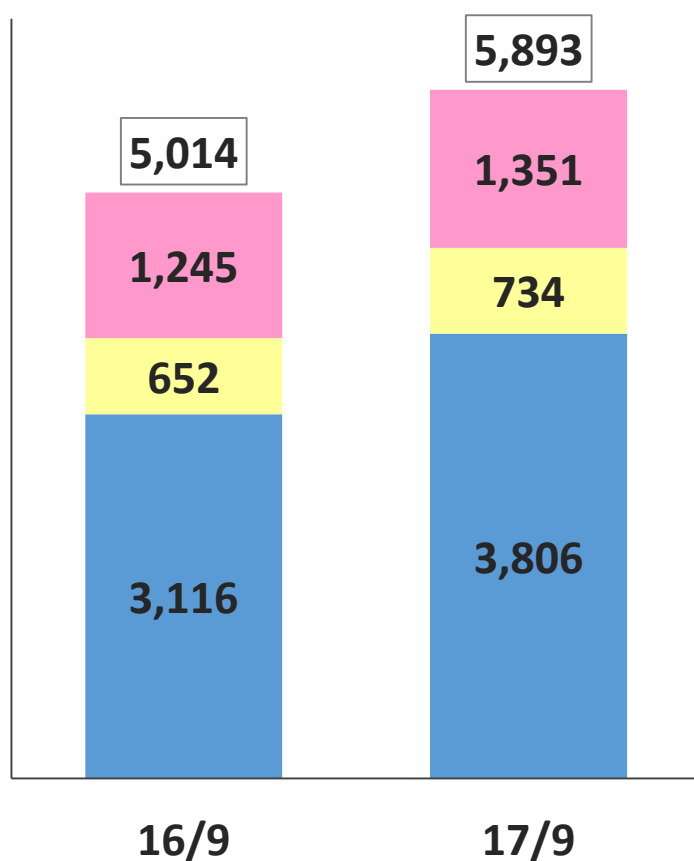
※システムには投資コスト(のれん償却)含む
16/9 193百万円 17/9 95百万円

システムセグメントの業績

3プロダクト全部が増収

売上高（百万円）

■ セキュリティ ■ その他ソリューション ■ カスタム



定性情報

- ◆ セキュリティは、小売店向け、オフィス向けの各商品が好調、及びタイでの防火システムが前期比増となり増収
- ◆ その他ソリューションは、クラウド型無線LANやRFIDタグの販売が堅調
- ◆ カスタム・サービスは、機器販売増に伴う設置料収入や保守収入が増加し増収

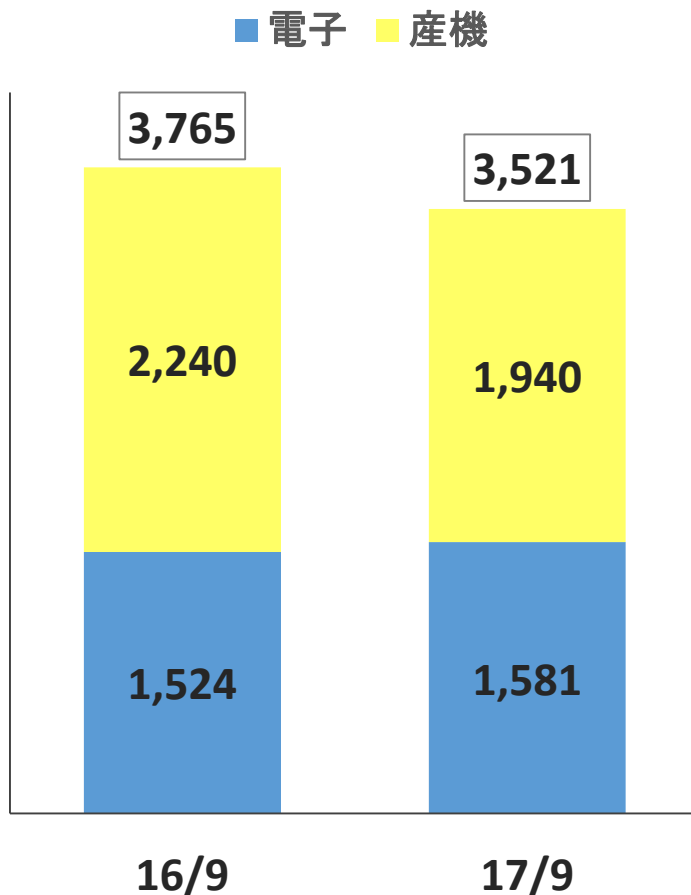
営業利益（百万円）

	16/9	17/9	前期比
システム	5	226	221

デバイスセグメントの業績

電子は微増収、産機は減収

売上高 (百万円)



定性情報

- ◆ 電子は半導体製造装置やIP-PBX(構内交換機)向け販売が堅調
- ◆ 産機はATMや遊技市場向けの販売が苦戦

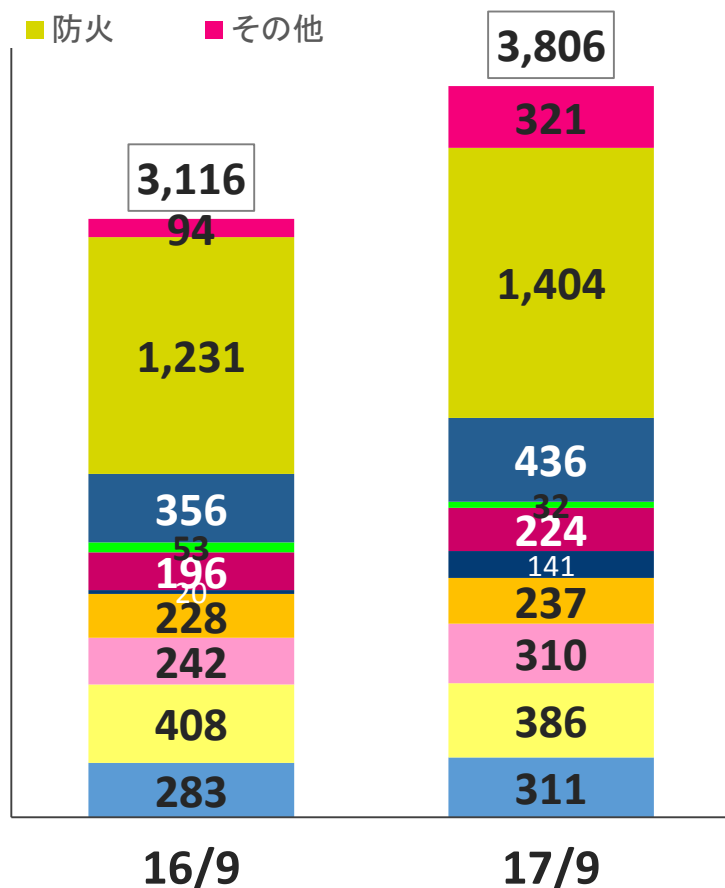
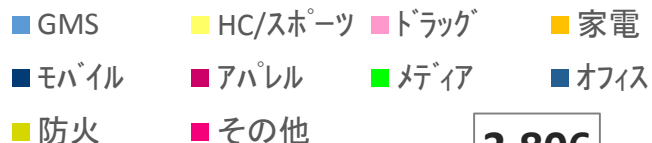
営業利益 (百万円)

	16/9	17/9	前期比
デバイス	123	△17	△140

セキュリティプロダクトの業績

ほぼ全市場で増収

売上高 (百万円)



定性情報

- ◆ GMSは商品監視システム(EAS)の更新需要を捉え販売増加
- ◆ モバイルは大手携帯キャリア向けディスプレイセキュリティシステムが引き続き好調
- ◆ オフィスは外資系企業及びデータセンター向け入退室管理システムが引き続き好調
- ◆ 防火はタイの一般ビル向け防火システムの販売増加



EAS(商品監視システム)



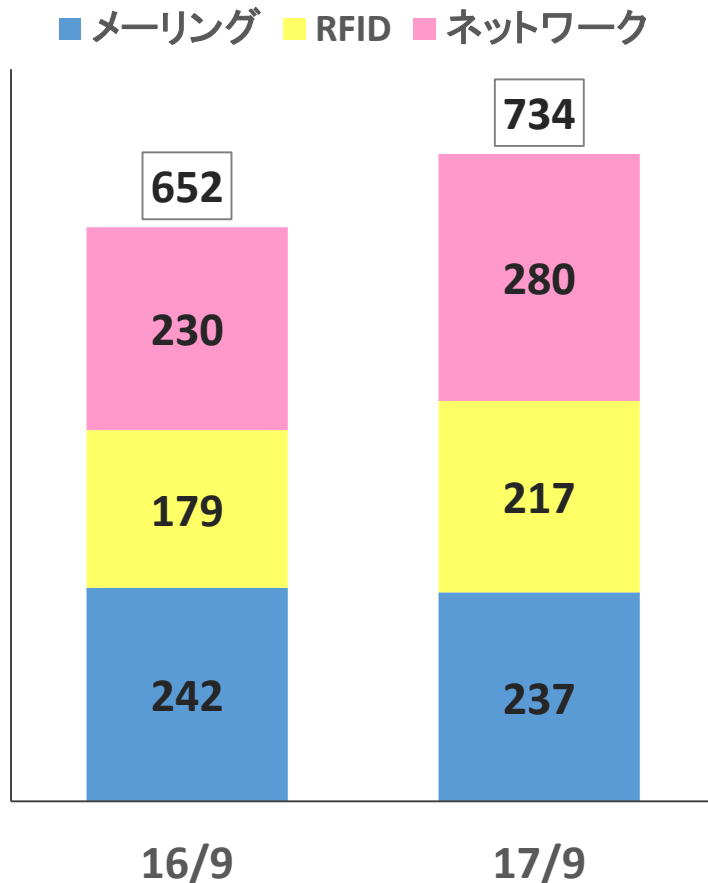
東南アジア発電所

その他ソリューションプロダクトの業績

RFIDとネットワークが増収

売上高 (百万円)

定性情報



- ◆ RFIDは物流向けタグの販売が堅調
- ◆ ネットワークは引き続きクラウド型無線LANが牽引
- ◆ メーリングはほぼ前年並み



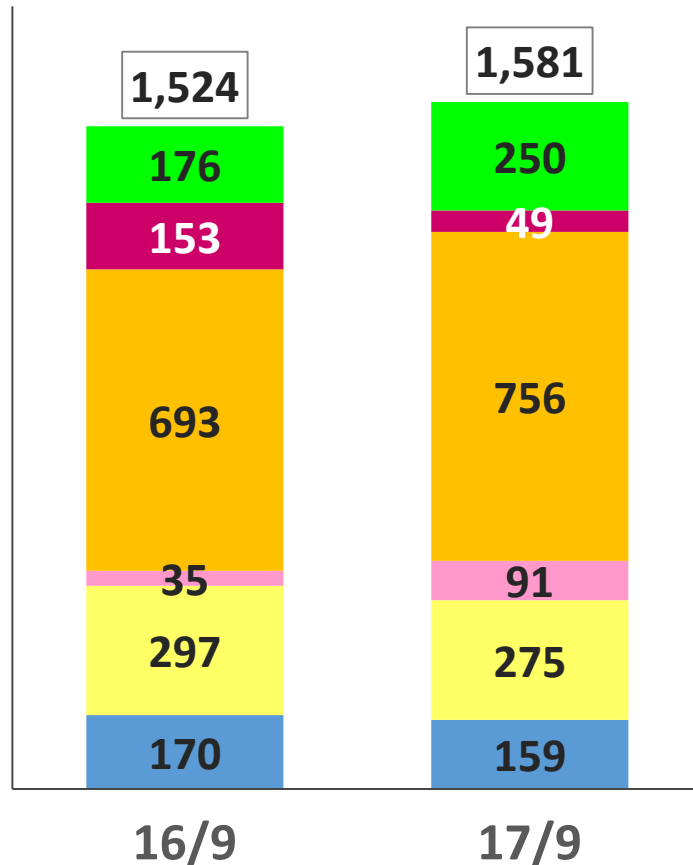
クラウド型無線LANシステム

電子プロダクトの業績

産業機器市場向け販売が伸張り増収

売上高 (百万円)

■ DA1 ■ DA2 ■ TT
■ II ■ アミューズメント ■ その他



定性情報

- ◆ 産業機器市場では、長期増産傾向にある半導体製造装置向けの販売が堅調
- ◆ IP-PBX(構内交換機)向けの販売が堅調
- ◆ デジタル家電、アミューズメント向け販売は苦戦
- ◆ 鉄道通信インフラ(新幹線トンネル内基地局)向け案件が量産開始



フィルターモジュール



通信モジュール

資料：電子プロダクトの市場区分

DA1 「デジタルアプライアンス1」

モバイル系情報家電 … 携帯電話、スマートフォン、デジタル・カメラ等

DA2 「デジタルアプライアンス2」

設置型情報家電 … 液晶テレビ、パソコン、プリンター等

TT 「テレマティクス」

車載用機器 … カーナビゲーション、車載カメラ等

II 「インダストリーインフラ」

産業機器 … 測定器、医療機器、放送設備、通信基地局、交換機等

アミューズメント

… ゲーム機、遊技機等

その他

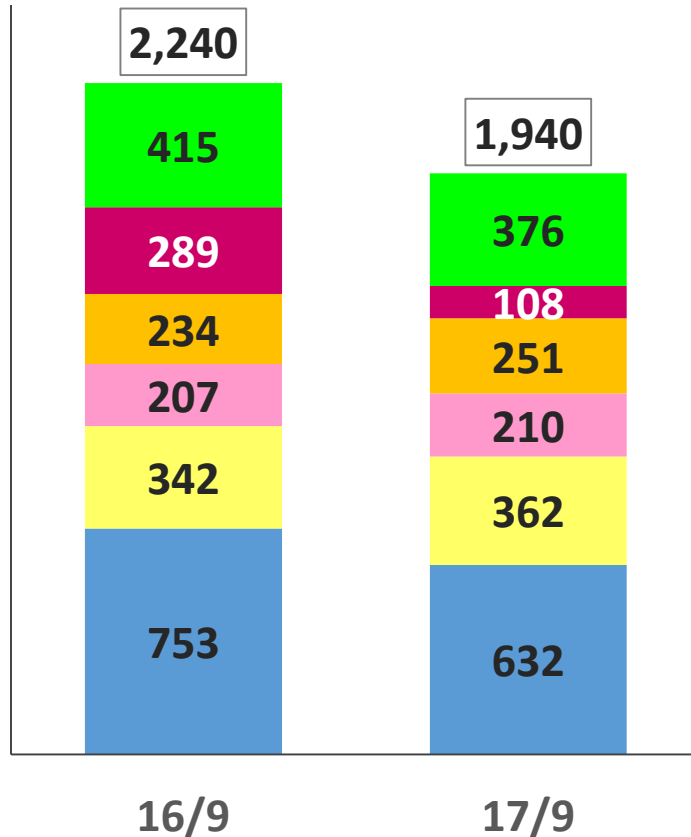
… パワー(電源関係)、代理店販売等

産機プロダクトの業績

自動機(ATM)、遊技向けが不調で減収

売上高(百万円)

■ 自動機 ■ 住設 ■ OA/PPC
■ OF ■ 遊技 ■ その他



定性情報

- ◆ 中国向けATMへの販売不振が継続。電子決済拡大も一因。
- ◆ 遊技向けは、新たな規制の施行が予定されていることもあり、市場が急速に縮小傾向にあり大幅減。
- ◆ 住設は米国での販売が堅調に伸張



スライドレール



ドアラッチ

資料：産機プロダクトの市場区分

自動機

… ATM(現金自動預け払い機)、券売機、釣銭機、自動販売機等

住設 「住宅設備」

…システムキッチン、福祉機器、引き戸、昇降棚等

OA・PPC

…複合機、コピー機、プリンター、印刷機等

OF 「オフィスファニチャー(家具)」

…オフィス用キャビネット、机、椅子等

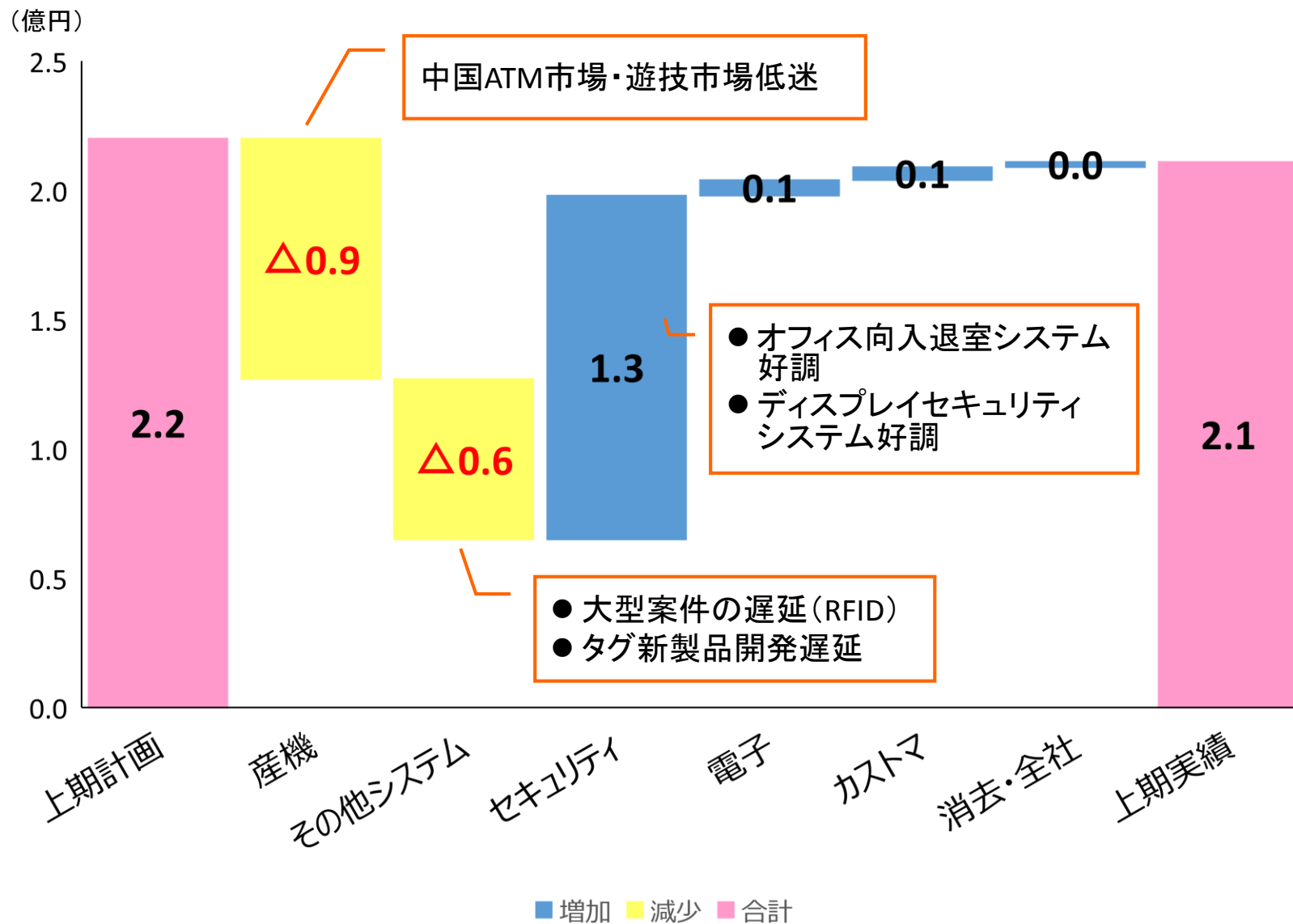
遊技

…パチンコ台間機、ゲーム機、アミューズメント設備等

その他

…上記以外で自動車内装、半導体製造装置、サーバーラック、鉄道関連等

プロダクト別実績（営業利益）



貸借対照表の状況

投資有価証券が増加

増加要因

・保有株式の時価増加

・RFID関連企業に出資

(百万円)	17/3	17/9	構成比(%)	増減
流動資産	15,699	15,347	83.0	△352
現金預金	6,163	6,331	34.3	167
受取手形及び売掛金	5,989	5,954	32.2	△34
商品及び製品	2,330	2,370	12.8	39
固定資産	2,861	3,137	17.0	276
有形固定資産	304	304	1.6	△0
無形固定資産	1,147	1,081	5.9	△65
投資その他資産	1,409	1,751	9.5	342
資産合計	18,561	18,485	100.0	△75
流動負債	4,034	3,729	20.2	△305
支払手形及び買掛金	2,749	2,543	13.8	△206
固定負債	691	704	3.8	12
純資産	13,834	14,051	76.0	217
負債純資産合計	18,561	18,485	100.0	△75

連結キャッシュ・フロー計算書の状況

前年度売上債権減少により発生した営業CFが減少

(百万円)

	16/9	17/9	前期差
営業活動によるキャッシュフロー	716	30	(※) △685
投資活動によるキャッシュフロー	△39	△263	△224
財務活動によるキャッシュフロー	△294	△112	181
現金及び現金同等物の増減額	255	△332	△587
現金及び現金同等物の期首残高	5,158	5,563	405
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,428	5,231	△196

※：営業キャッシュフローの残高は2015年度並み

株主還元策について

安定的な配当を継続的に実施

	1株あたり 年間配当金	内中間配当	配当性向:連結
2014年3月期	24円00銭	12円00銭	41.5%
2015年3月期	24円00銭	12円00銭	39.9%
2016年3月期	24円00銭	12円00銭	222.4%
2017年3月期	24円00銭	12円00銭	80.9%
2018年3月期(予想)	24円00銭	12円00銭	(見込み) 34.5%

通期の見通し

※当資料の金額の記載は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

通期業績計画

中期経営計画の2年目として新たな事業成長に向け邁進

(百万円)

	17/3 実績	18/3 計画	前期差	前期比(%)
売上高	19,037	21,000	1,962	10.3
粗利益	4,813	5,460	646	13.4
粗利益率(%)	25.3	26.0	0.7	—
販売費及び一般管理費	4,313	4,460	146	3.4
販管费率(%)	22.7	21.2	△1.4	—
営業利益	500	1,000	499	99.8
営業利益率(%)	2.6	4.8	2.1	—
経常利益	700	1,000	299	42.8
経常利益率(%)	3.7	4.8	1.1	—
親会社株主に帰属する当期純利益	279	650	370	132.4
親会社株主に帰属する当期純利益率(%)	1.5	3.1	1.6	—

下期業績計画

下期に大きく増益見込

売上高 (百万円)

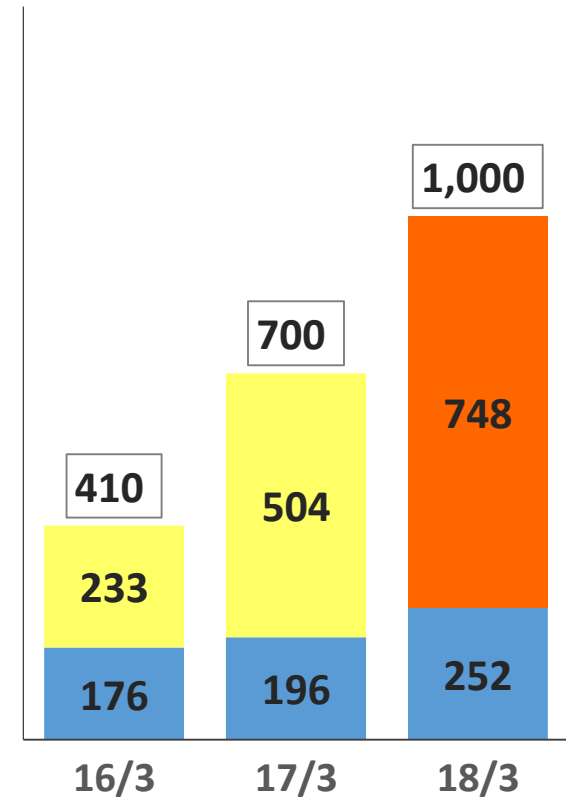
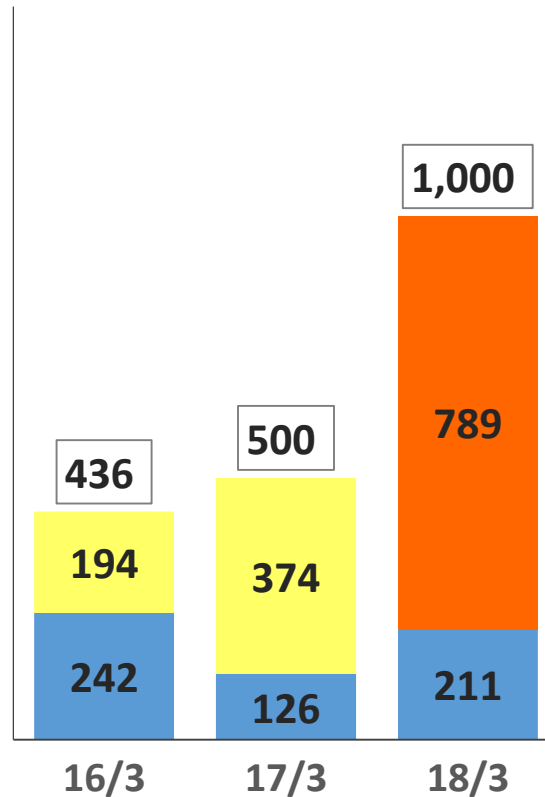
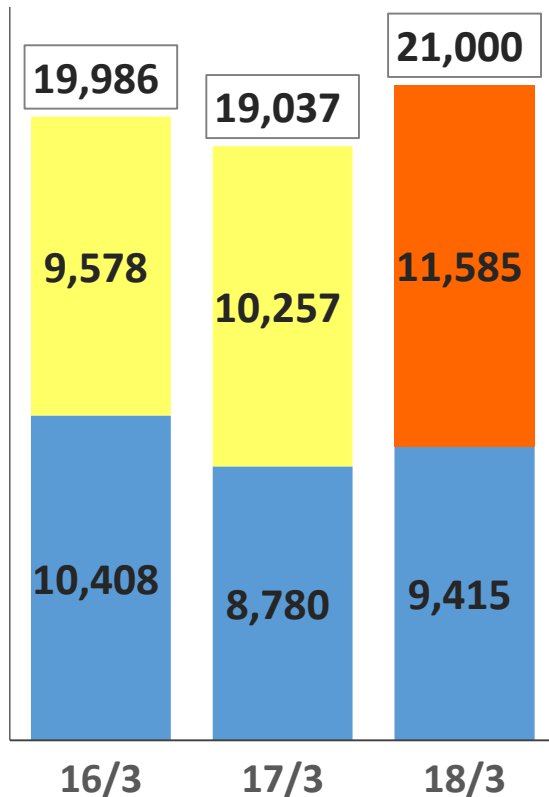
営業利益 (百万円)

経常利益 (百万円)

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込

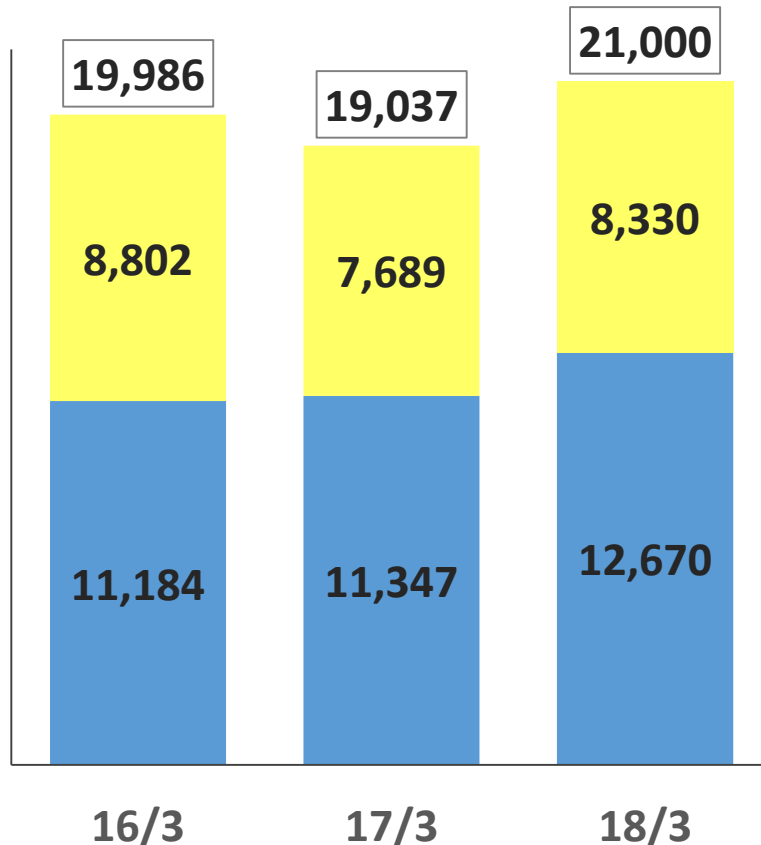


セグメント別販売計画

システム・デバイスとも増収計画

売上高（百万円）

■ システム ■ デバイス



定性情報

- ◆ システム: セキュリティの複合ソリューション拡販、東南アジア発電所案件等強化、RFID等の新規市場での拡販を図る
- ◆ デバイス: 電子は産業機器市場での拡販継続、産機は新商品の拡販と米国市場の攻略を進める

（百万円）

	17/3	18/3	前期比
売上高	19,037	21,000	1,962
営業利益	500	1,000	499
経常利益	700	1,000	299
親会社株主に帰属する 当期純利益	279	650	370

セグメント別販売計画の詳細

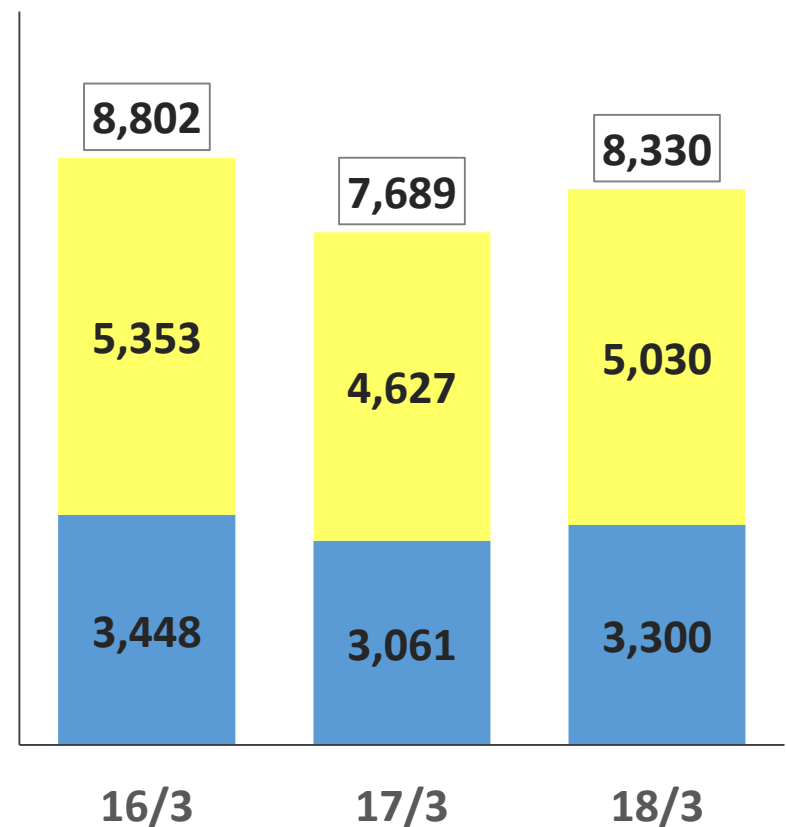
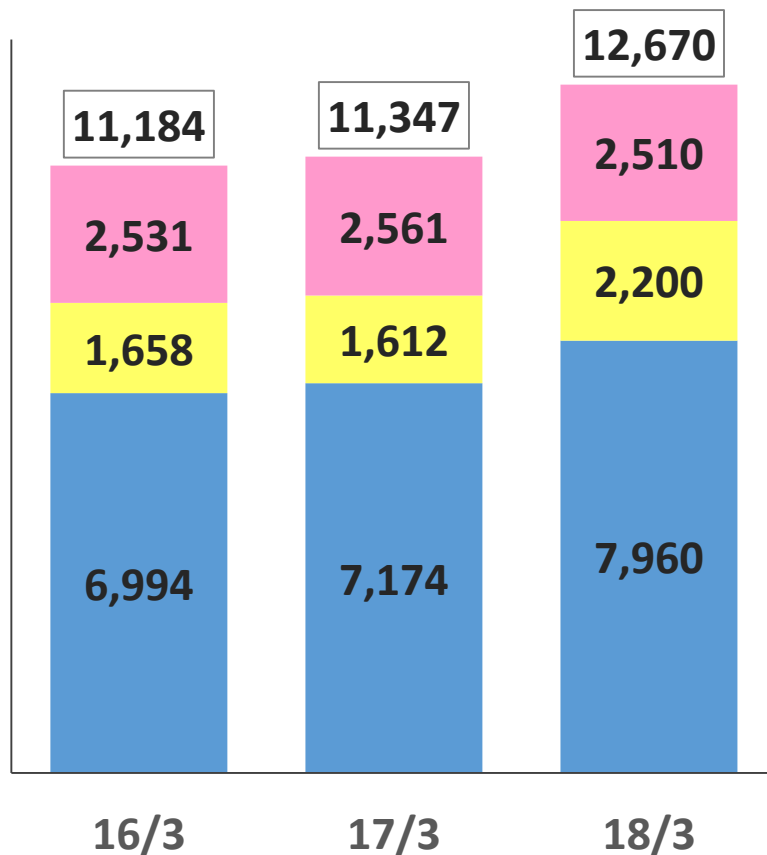
ほぼ全てのプロダクトで増収計画

システム

デバイス

■ セキュリティ ■ その他ソリューション ■ カスタマ

■ 電子 ■ 産機



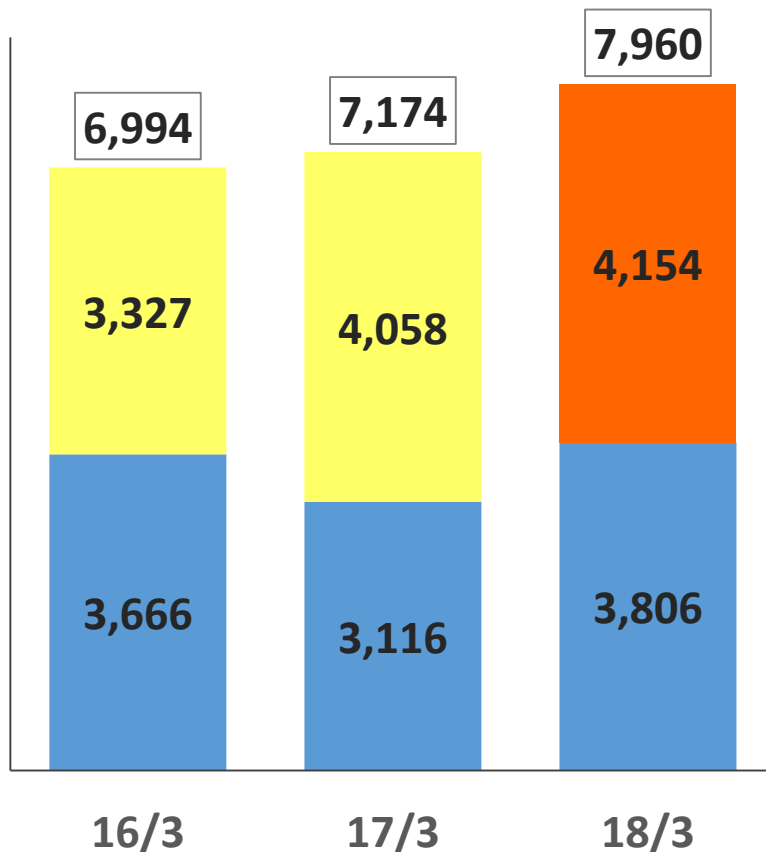
セキュリティプロダクトの販売計画

リテール重点市場への拡販、及びグローバル事業推進

売上高 (百万円)

主な施策

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込

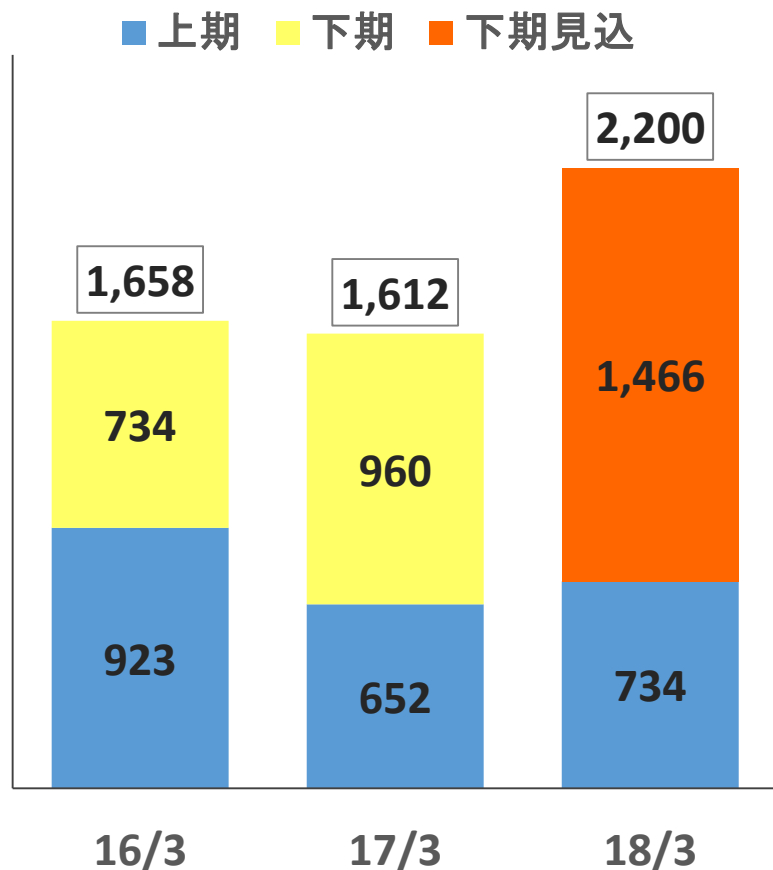


- ◆ 商品監視システム(EAS)の更新需要の取り込み
- ◆ 画像認識とEASの複合ソリューション拡販
- ◆ 携帯キャリア向けにディスプレイセキュリティ横展開
- ◆ オフィスは外資系企業及びデータセンターの攻略継続
- ◆ ASEAN地域の電力需要拡大に伴う発電プラント、及び石油コンビナート等の防火案件の取り込み強化

その他ソリューションプロダクトの販売計画

RFIDの大型案件取り込みと既存事業の拡大

売上高（百万円）



主な施策

- ◆ 物流市場でこれまでに導入したRFIDタグの管理システム強化
- ◆ アパレル市場の管理精度向上等を実現するためのRFIDシステムの販売強化
- ◆ RFID特殊タグをレンタル事業向けに拡販
- ◆ クラウド型無線LANシステム(Meraki)を小売店に加え自治体・文教市場向けにも拡販
- ◆ メーリングプロダクトでは大型封入封緘機の更新需要の取り込み

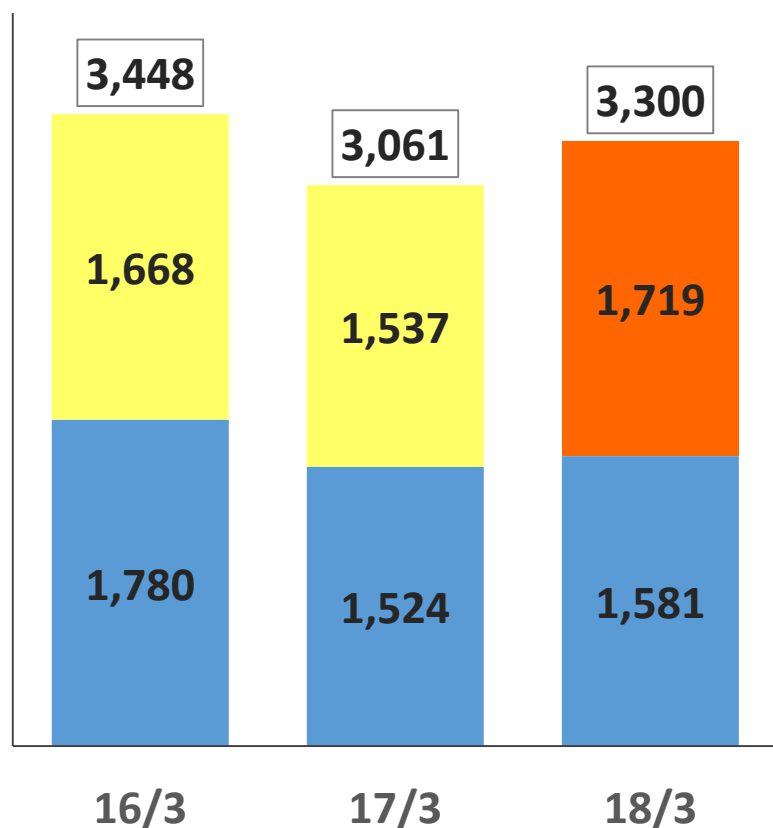
電子プロダクトの販売計画

産業機器市場への販売強化継続

売上高（百万円）

主な施策

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込



- ◆ 産業機器市場ではIP-PBX(構内交換機)、半導体製造装置の量産化フォロー
- ◆ 加えて産業機器市場では、総務省が推進するICT基盤整備の一環として、鉄道通信インフラ(新幹線トンネル内基地局)に向けて、電子部品(フィルタ)を拡販
- ◆ 音声認識機能の要求が高まる車載市場等へシリコンマイク拡販
- ◆ 各種センサーを中心としたソリューションビジネス拡大

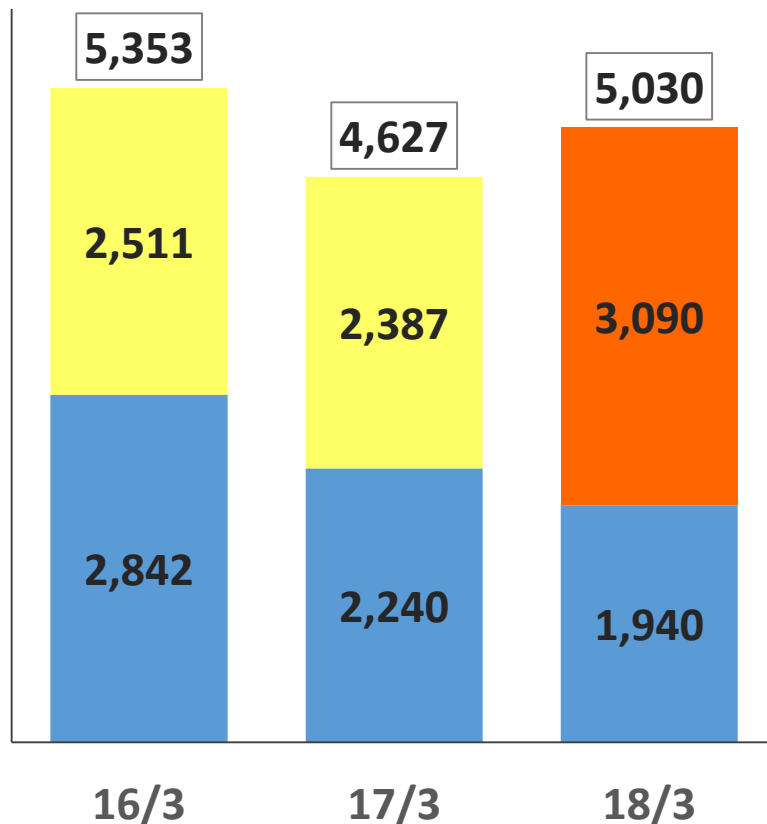
産機製品の販売計画

高付加価値提供とグローバルビジネスの推進

売上高（百万円）

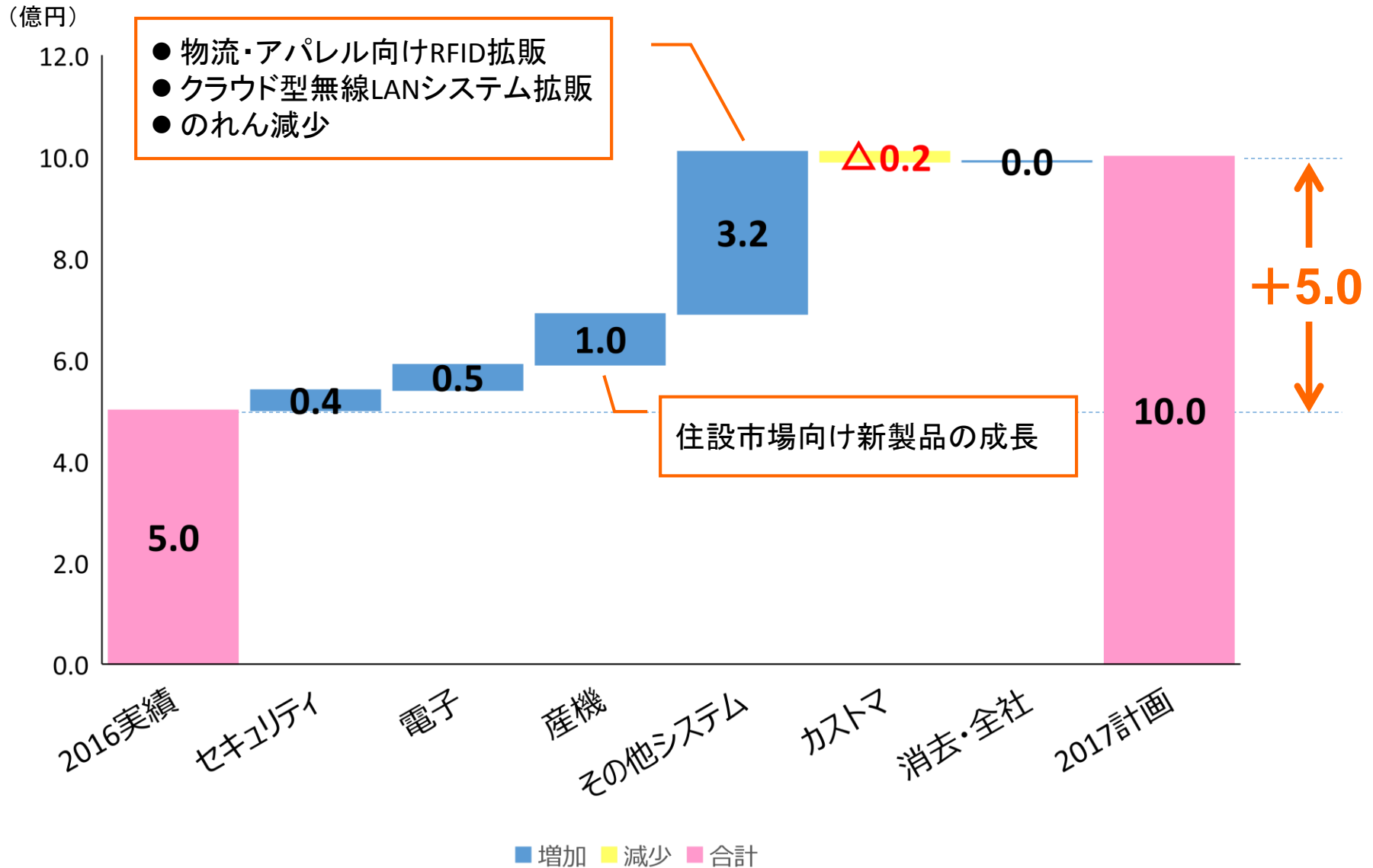
主な施策

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込



- ◆ 住設市場は国内に加え、アジア、米国への販売強化
- ◆ 自動車内装部品市場の開拓に注力
- ◆ 自主企画商品開発、生産拠点を合わせたグローバルな供給体制、コンサルティング営業、等の高付加価値提供強化
- ◆ 新商品（フィルスター社、サウスコ社、昇降ユニット等）拡販
- ◆ 自動機市場へ複合提案強化

プロダクト別計画（営業利益）



ありがとうございました。



当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、
記載された将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。